

「もしも」に備える難病支援 ～災害時に向けて、 難病のある方をどう支えるか～

- ▶ 近年、様々な災害が増加し、災害への備えが重要視されています。
- ▶ 「もしも」の時に、難病のある方とその家族を支えていくには、「いつも」の支援の中で平時から備えておくことが大切です。
- ▶ 今回は、発災時どんな状況・課題が起こりうるか、それに対して支援者がどう取り組んだら良いかを考えていきます。

□ 日時 令和8年10月8日（木）
14：30～17：00

□ 場所 ①渡島総合振興局 3階講堂
(函館市美原4丁目6番地16号)
②知内町保健センター（web会場）
運動訓練室
(知内町重内31-130)

どちらの会場
でも参加でき
ます



□ パネルディスカッション テーマ

「難病患者の災害時避難における課題と平常時の取組み」

《座長》

●市立函館病院 堀内 一宏 氏

《パネリスト》

●訪問看護ステーションやわらぎ 成澤 久美子 氏

●函館酸素(株) 成田 和也 氏

●北斗市保健福祉課福祉サービス係 城村 武士 氏

●渡島保健所保健師

◇申込方法 FAXまたはE-mail

FAX 0138-47-9219

Email : oshimaho.kenkousuishin@pref.hokkaido.lg.jp

◇問い合わせ先 電話またはE-mail

電話 0138-47-9548

申し込み〆切
9月25日（金）